

〇〇さんの、そこが知りたい!

河野謙



第2回目の今回は、この方！皆さまお馴染み、野沢のハンズ「**有限会社 丸見屋商店**」店長の河野晃久さんです。生粋の村民なら、誰もが経験したはずである、丸見屋さんに入った時のあのワクワク感？緊張感？何とも言えない、文房具屋さんならではのあの匂い……。今も変わらずそこに残っています。「オモチャ買ってもらえるかな・・・」「お小遣い貯まったらあのミニ四駆買おう！」あのワクワク感は、親から子、そのまた子へと、世代を越えてずっと野沢に続いていくのでしょうか。

【インタビューは2019/03/20、丸見屋さん店長室にて】

僕：「村のみんなのリクエストにお応えして、ってことで2回目は晃久さんになりました。今日よろしくお祈いします。」

晃久さん(以下、晃)「いやいや(笑) よろしくお祈いします。」

◆僕：「まず、今更なんですが...丸見屋さんの業務内容ってどんなことがありますか？」

晃：「文房具・雑貨等の販売、学校や役場の納品、事務機器(コピー機、パソコン、ファックスなどOA機器)の販売・設置、封筒の名入れ、印刷、ラミネートだったり...まあそんなとこかな。」

僕：「え！パソコンとかも売ってるんですか！しかも設置まで。じゃあ慣れない人は相当助かりますね。」

晃：「んん。まあ...ネットで買うよりは親切かもしれないな(笑) OA機器は、『そんなんやってるの！？』ってよく言われるね。あと...玩具とか、冬はミニスキーでしょ、あと雪笠売ったりね。」

僕：「だいぶ広いですね。あと、クロスカントリー(コーチ)の方もありますもんね。」

◆僕「大学卒業後って何されてたんですか？」

晃：「東京で働いてたんだよ。紙の専門商社。ウチも紙扱ってるから、紙の業界を受けてみて...受かって...。そうしたら、紙を作る方の...パルプとかに薬品を入れるんだけど、その薬品を扱う部署に配属されたから、結局、紙の大きさとかは何も知らずに終わったっていう(笑) あと、パルプを原料とした食品添加物の営業とかね。食品メーカーに行って、『コレ入れると、こんな味になりますよ』みたいなこと話してたよ。」

僕：「なんか全然違う方(職種が)へ行っちゃいましたね(笑)」



「何年ぐらいそこで働いてらっしゃったんですか？」

晃：「8年半だね。32歳までかな。それからこっち(野沢)。」

◆僕：「どんなきっかけで帰ってきたんですか？」

晃：「まあ、ずっと帰って来たいとは思っていて...いつ帰れるかなってのはずっとタイミング考えてただけけど...一番のきっかけは、じいちゃんが亡くなった時に『そろそろ何となく帰んなきゃな。』みたいな感じかな。あと、子育てはこっちでしたいと思っていたしね。それが大きい。」

僕：「子育て、ですね。確かに。あと、ずっと継ごうっていう気持ちもあったんですね。」

晃：「うん。そうそう。そういう気持ちはあった。入社試験の最終面接で、『いつか帰ります』って言ってちょっと問題になった(笑) つい、ポロっと。たまたまその頃、教育実習で野沢に来ていて、里心が付いていたのもあって、ついポロっとね。」

僕：「あ、そうそう。晃久さん英語の教員免許も持ってるんですもんね！それを使って、いま何かやったりしてます？」

晃：「いや全然。お客さんで外国人が来ても対応に困るぐらい(笑) 何とか意思疎通は出来るけど(笑)」



◆僕：「じゃあ次で。いっぱいあると思うんですけど、丸見屋さんの仕事をやっていて、一番面白いこととか、良かったな~と思うのはどんなことですか？」

晃：「『助かった~！』って言われるのが嬉しいかなあ...『これ探してた』とか、『早く持って来てくれて、助かった』とか、なんか壊れたのを直して『助かった』って言われるのが一番かなあ。あとは...これ面白そうって思って仕入れたものが、凄いイイ反応の時とかね。もうダイレクトだから。たまにメチャメチャ外す時もあるけど(笑)」

◆僕：「晃久さんの、『休日』はどんな感じですか？ トレイルラン...とかですか？」

晃：「そこしかないな~笑。店、休みが無いからね。どこかへみんなで買い物に行って、それから店番、みたいな感じだから...トレランの大会の時間が休日かな。」

僕：「あ、そうですよね。僕らは助かります。トレランは年間、どれぐらい出るんですか？」

晃：「月1でしょ、だから...1、2、3、4、5、6、7...(僕：そんなに出来るんですか！?) 頑張れば8回ぐらいかな。」

僕：「じゃあ、もう...そんなに出るなら、大会が練習みたいな感じですね。」

晃：「そうそう。申し込まないと走らないから(笑) あ~もうお金払っちゃったから走るか！みたいな感じでね(笑)」

僕：「初めて出たのっていつですか？」

晃：「こっち帰って来てだから...33、34歳?ぐらいの時かな。まあ、せつかく野沢で大会あるし、走れるんじゃないか~?みたいな感じで(笑) クロスカントリーやってた時、練習で山走ったりしてたし、靴と短パンあればいいんでしょ?って。そうしたら、なんかリュック背負って、水持って走るらしいぞ!?ってというのが分かって、あれも買わなきゃ、これも買わなきゃって、一回出たら面白くて...もう一回やるぞ~、って。面白かったよ。」

僕：「最長、どれぐらい走るんですか!？」

晃：「最長は野沢の65キロ。一昨年、初めて出てみてね。(元々は3人で駅伝だった)で、完走出来て、終わった~!と思って...去年また出たら暑くてリタイヤして(笑) 今年はどうしようかな~って思ってるところ。」





今でもお店の外で、村の子ども達がよく待ち合わせをしているらしい...。
【美人奥さま、沙織さんと】

僕:「いや～もう尊敬ですよ。狂ってる(笑)」

晃:「いやいや。ただの道楽だよ。」

◆僕:「これから、こんなことにワクワクしてるとか、村の中でどんな存在でありたいか、というのをお願いします。」

晃:「迂闊なこと言えないからなあ(笑) うん。よそにいて帰って来たっていうのもあるから、役に立ちたいとか... 恩返ししたいっていうのがあるよね。育ててもらった恩返しがね。スキーの大会に手伝いに行ってるのも、ジュニア見たりしてるのも、『自分たちがやってもらったから』っていうのがあるよね。だから、恩返しができるようになりたいかな。やっぱりね、南原(クロスカントリーの競技場)に行くと、みんなそんな感じだよ。『オレ達もやってもらったからなあ～』みたいなね。みんなそんな感じ。あとはやっぱり、ここ(野沢)で暮らしている人が、いつまでも暮らしていけるように...ウチで言えば、商売やってるから、その仲間で頑張るぞってね。だから商工会も入ってるし、その仲間で頑張っていって...『ウチはもう、商売やめた』とか、そういう人が出ないようにみんなで頑張っていきたいかなあ。」

僕:「やっぱり野沢が大好きなんですね。」

晃:「そうだね...。」

(インタビュー終)

晃久さんとお話したことがある方なら、誰もが感じるであろう、そのほのぼのとした人柄にはいつも安心感を覚えます。この日のインタビューも、ヤカンの乗ったストーブを挟んで心地よい笑いを交えながら...もう...僕はそこに溶けてしまいそうになりました。しみじみと、でも深く根強い、晃久さんの野沢に対する気持ちがすごく伝わって来ました。自分の子どもも、もう少し大きくなった時、街の文房具屋さんこんなオッチャン(すみません笑)が居たらいいな...心からそう思います。 晃久さん、3月の忙しい時期にありがとうございました！楽しかったです！

◆◆◆最後に、こんな企画をリクエストさせていただきました。お楽しみください◆◆◆

晃久店長の!
新学期オススメアイテム
ベスト5!

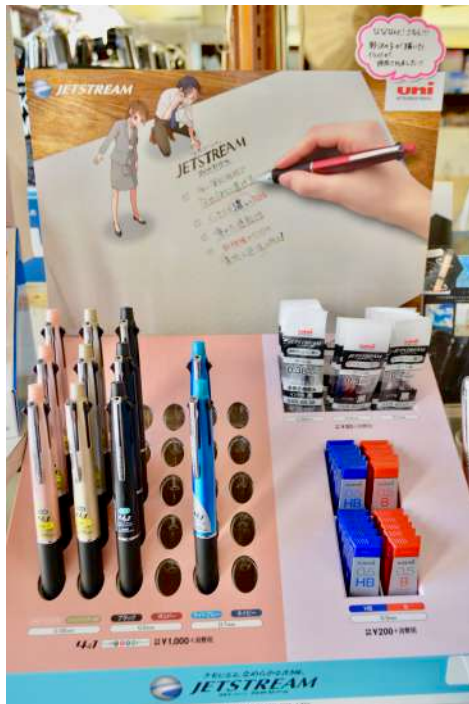
第1位 【ゼブラ 振るだけで芯が出るシャープペン!】

あのカチカチやる時間すら無駄にしたいあなたに! これならライバルに差を付けられるはず!! しかも低重心で書きやすい!! カラーリングもカッコイイ! ちょっとしたプレゼントにも最適ですね。



第2位

【三菱鉛筆 JETSTREAM】



「クセになる、なめらかな書き味。」

みなさん、使ったことありますか？本当に具合いいです！この僕でもスイスイ書けちゃいます。え？まだ読みにくいって？失礼いたしました。「世界初のインクを搭載し、筆記速度に関係しないなめらかさ、速乾性、くっきりとした濃い描線を実現。」

なんと上のイラストは、野沢の子が描いたものが採用されたんですって！全国での活躍、嬉しくなりませぬ。

第3位

【SONIC キュポットグリップ】



箸の持ち方や、鉛筆の握り方って、結構見られているんですよね～。しかも小さい頃にそれが決まってしまうと、なかなか直せないんですよね～。でも、これがあれば安心！これを鉛筆に付けるだけで、自然と正しい持ち方になっちゃいます。しかも！キャップ代わりにもなるので、まさに一石二鳥ですね！書くのが楽しくなりそう！

第4位

【チョコちゃん ひゅうちゃん】



ポーッと生きてました！すみません！流行に疎い僕でも知ってますよ。常にチョコちゃんのプレッシャーを受けながら学習すれば、間違いなく成績も上がることでしょ！

第5位

【アニマル 単語帳】



大好きな動物達と一緒になら、きっと暗記も楽しいはず！こうしたアイテムを使って気持ちをアップさせるのが、成績アップの一番の近道かもしれませんね！どれもカワイイです。

【有限会社 丸見屋商店】 店長:河野晃久さん
営業時間: 8:30~21:00(年中無休)

〒389-2502 野沢温泉村9571(大湯通り)
電話:0269-85-2129

バックナンバー

#1「ぽっぽ動物病院」松川恵 先生

「欲しい！」という方、お気軽にどうぞ。

【滑るインタビュー】

河野謙(こうのけん)

〒389-2502 長野県下高井郡野沢温泉村豊郷9829(横落・Fujiyoshi)

携帯080-1294-5162 Mail: fat.da.sumo.ken-ken@i.softbank.jp

携帯Mail: fat.da.sumo.ken-ken@softbank.ne.jp

その他 LINE、facebookのMessengerもご利用ください。